



2008～2009年度RI会長 李東建



東京赤坂ロータリークラブ

例会日 2009年1月9日

例会場／ANAインターコンチネンタルホテル東京
Tel 03-3505-1111

事務局／〒107-0052東京都港区赤坂2-19-8
赤坂2丁目アネックス3F
Tel 03-3505-5976
Fax 03-3505-6004
akasaka-rotary@w8.dion.ne.jp
http://www.k5.dion.ne.jp/~akasaka

Weekly Report

東京赤坂ロータリークラブ週報

「夢にむかって、楽しくロータリー」

2008～2009年度・東京赤坂ロータリークラブテーマ／村山公士 会長

●本日の例会／2009年1月9日 第1053回例会

新年初例会

「新年のご挨拶」 会長 村山公士
「新春落語一席」 落語家 三遊亭楽京

新年のご挨拶

会長 村山 公士

新年、明けましておめでとうございます。

昨年末以来の、100年に一度といわれる世界経済の混乱は、年を越してもまったく解決の見通しが見えず、一層不安が膨らむばかりです。

7月にスタートした今年度もまたたく間に半年が経ってしまいました。54名でスタートしましたが、増強委員会の努力により前期中に2名の新会員を迎えることができたものの、名誉会員1名を含む2名の退会により、結果的には純増0です。後半はクラブ一丸となって増強に努め、何とか初期の目標を達成しなければなりません。

前半期の主要なテーマとして、増強とともに青少年交換学生の受入がありました。地区青少年交換委員会のご助力のお陰もあり、最初の3カ月はクラブ外のホストファミリーのお世話になることで無事乗り切ることが出来、11月以降はクラブ会員のお宅にホストファミリーをお願いしているところです。この後お願いするホストファミリーも含め、感謝申し上げます。引続き、クラブが一丸となって協力をしなければなりません。

今年度のガバナー公式訪問は、初の試みとして、子クラブである麻布ロータリークラブとの合同で行われ、無事終えることが出来ました。また、その前段のガバナー補佐公式訪問のクラブ協議会では、議題として「クラブ活性化」を取り上げ、活発な議論を行うことが出来ました。そして、その議論の中で提案された「100%出席例会」を11月末の例会で実行し、その勢いを年末の忘年家族会に引き継ぐことが出来ました。

ロータリーは半年経過したところで、その年度は終わったのも同然という人もいますが、今年はそういうわけにもいきません。今月末には2年振りのIMがあり、2月にはグアムの地区大会に親睦旅行を兼ねて参加します。青少年交換も6月末まで、クラブ会員の3家族にお世話になります。社会奉仕に関しても、車椅子ボランティアや災害時の給水情報についてはこれからです。このように、後半も盛りだくさんです。どうぞ皆様のご協力をよろしくお願い致します。今年度のテーマは「夢にむかって、楽しくロータリー」です、大変なことも、難しいことも、楽しく取り組んでいきたいと思っています。

どうぞ皆さんにとりまして、本年が良い年でありますよう祈念いたします。

一 ●先週報告／2008年12月26日 第1052回 例会 一

会長報告：

米山功労者表彰 大日方会員



慶事披露：

誕生日 祝／柴本芳郎君(12月18日)
平田和夫君(12月22日)
高須康有君(12月23日)



出席報告：(敬称略)

会員54名／出席29名・欠席25名(出席規定免除者6名)

ビジター／遠藤幸男(船橋RC)

計1名

●次週予告／2009年1月16日 第1054回 例会

卓 話：

『125歳までごきげんに生きる

～経営者のためのアンチエイジング医学～』

三番町ごきげんクリニック 院長 澤登 雅一 氏

本年最初の火曜会は、尾上会員による司会の下、buffet式の食事を楽しみながら、出席者全員が「新春放談」と題して年末年始の体験などを語り合いました。村山会長の不



景気ではあるが楽しく元気よくいこうとの号令を皮切りに、西澤(民)会員から、公山城RCが1月8～10日に来日し、ゴルフなどを通して親睦を図ること、庄司会員から、孫の面倒をみていたこと、石井会員から、荒木会員とのランチの際、不景気の時代だからこそ社内を充実させるといふ旨のアドバイスを受け、実践したほか、昨年末に竹本会員のお店で同会員らと忘年会を開催したこと、竹本会員から、昨年12月に交通事故で大きな痛みを受けたこと、荒木会員から、江ノ島の海に一人で行くこととなったが、今年はその荒波のような年となるであろうこと、清水幹事から、長男長女がいずれも配偶者の実家に帰省したので、妻と二人で荻窪の著名店に年越しそばを食べに行ったこと、武下会員から、ノーベル平和賞の報道を契機にカリスマ性とは何かを考えたが、我々経営者にもカリスマ性が重要であること、松永会員から、今年の目標の一つとして子孫のための温暖化対策を掲げたいこと、尾上会員から、同会員にとってRCは癒しであり、会員みんなを愛していること、岩上会員(和服着用!)から、和服を着用すると日本人の歩幅を感じるが、これを大事にした方がよいこと、同会員令嬢を含むチアリーダーのけなげな姿を見て反省したこと、長谷川(弘)会員から、エコの花に関心があること、吉岡副会長から、不景気の時代だからこそ前向きに考えたいこと、毎週の例会が楽しみであること、平田会員から、子育てを楽しんだこと、ジェームズ・アレンの『原因と結果の法則』が勉強になったこと、などのお話がありました。なお、数人の会員から、訃報に関するご報告がありました。謹んでご冥福をお祈りいたします。その後の2次会は、初の試みでしたが引き続き同じラウンジで行い、新年のスタートらしく和気藹々と大いに盛り上がりました。

(平田記)

参加者：庄司、尾上、清水、吉岡、岩上、武下、西澤(民)、村山、竹本、松永、石井、荒木、長谷川(弘)、平田

計16名(敬称略、順不同)



12月26日

21件 44,000円／本年度累計758,000円
多額のご寄付をありがとうございました。(敬称略)

村山公士／本年中はお世話になりました。来年もよろしくお願い致します。柴本芳郎／誕生祝いの難う御座います。永生きに感謝。高須康有／今年も皆様お世話になりました。また、誕生日のお祝いありがとうございました。清水實／今年も終わり、皆様お世話になりました。来年もよろしくお願いします。大日方真／1年間お疲れ様でした。ホノルルマラソンに出て走りおさめをしてきました。四分一勝／皆様どうぞよい年をお迎えください。西澤民夫／良いお年をお迎え下さい。ジョン・チャヌ／本年最後の例会ですね。良い年をお迎え下さい。石井謙次／1年間大変お世話になりました。土屋先生ニコニコご苦労様です。鶴間喜久男／今年1年間ありがとうございました。皆様、良いお年をお迎えくださいませ。小原健／ジョンさん、素晴らしい音楽をありがとうございました。皆様よいお年を！入沢頼二／皆様のお陰で今年も楽しいロータリーライフをおくることができました。来年もよろしくお願いします。尾上寛／先日の忘年家族会多数の参加頂きまして大変有難う御座いました。来年もよろしくお願いします。吉田用親／お陰様で1年間、無事終えることができました。田村昭二／一年間大変お疲れ様でした。武下朗／皆さん、1年お付き合いありがとうございました。次年度を期してゆっくり休みましょう。土屋東一／皆さん、今年一年ありがとうございました。来年もよろしくお願い申し上げます。荒木昭文／本年皆様には大変お世話になりました。来年もよろしくお願い申し上げます。尾関武男／今年も残すところ後わずかです。皆様にとって来年は良い年でありますように。長谷川弘志／今年もお世話になりました。皆様、どうぞ思ったより良いお年をお迎え下さい。松永秀和／良いことも、悪いことも、みんな忘れて、良い年をお迎えください。

Member's Voice

めんぼう No.77
大日方 真

第36回ホノルルマラソンに参加

ホノルルマラソンは、心臓病の医師が長距離を時間をかけてゆっくり走ることを3か月続ければ誰でもフルマラソンを走れる、心臓病にも効果がある、と呼びかけたことがきっかけで発展し、初心者でも参加出来るマラソンとして有名になりました。今はJALが主催していますが、最後のランナーがゴールするまで待っていてくれます。制限時間がありません。

12月14日(日)午前5時(日本時間15日の真夜中0時)にスタート。小雨でした。10キロから20キロは土砂降り、ダイヤモンドヘッドを過ぎるころに晴れて暑くなりま

した。30キロ過ぎで足に痙攣がきて、有名な高級住宅街を数キロ歩いて10時を過ぎてゴール。5時間以上かかって私のワースト記録になりました。

20,302人がスタート、ゴールしたのが20,054人で、20,053位は日本人女性で14時間6分30秒、20,054位は日本人男性で15時間1分50秒、最高齢は安中市の男性91歳、タイム8時間36分23秒でした。優勝者は男がケニヤ人で2時間14分41秒、女は日本人嶋原清子で2時間32分36秒。

参加しての感想。日本人がホノルルに大集合しての3泊5日の楽しいマラソン祭りでした。

私は2週間前に走った筑波マラソンの疲れが残っていて、不本意な結果でした。チャンスがあったら万全の備えをしてもう一度走りたいと思っています。